

# 情報たに

第54号  
平成27年3月20日

発行  
谷自治振興会  
谷公民館

## 住み良い地域創造事業

ゆず舟亭 谷笑カフェで発表



ゆずのシフォンケーキとゆずのジュレ

地域にある資源を活用して加工品作りに取り組んでいるグループ「ゆず舟亭」が三月一日(日)「商品のお披露目カフェ」を開催しました。楽校廊下でゆつたりとコーヒーを飲みながら「ゆずのシフォンケーキ」や「パンプキンケーキ」を



たくさんの方が来校されました！

頂きました。試行錯誤を繰り返して作り上げた商品は全て手作り、ほんのりと優しい味がします。「ゆずのジュレ(400円)」と「ゆずのシロップ煮(二個入り300円)」は楽校で取り扱っています。お土産などにいかがですか？是非ご賞味下さい。

## フォトコンテスト 受賞作品展示

「出雲の國・斐伊川サミット第一回フォトコンテスト受賞作品」が二月十六日(三月一日間)、楽校で展示されました。飯南町長賞として谷笑楽校が写った写真も入賞し、記念に「谷笑楽校四季よせて」というタイトルで伝承室に展示をしています。コンテスト受賞作品についてはコチラのURLから閲覧できます。  
<http://www.hikawa-summit.info/photo-contest/index.html>



楽校2階の伝承室に展示中！

## 図司先生来校

谷の今後を考える

法政大学教授の図司先生が来校され十二日(木)に交流会が開かれました。今回はいつも来られる学生さんと一緒ではありませんでしたが、ふるさと回帰支援センターの方や山崎町長さんも参加され、これからの谷地区についてなど、様々な意見交換を行いました。地域内外ともに、今後も様々な「繋がり」を大切にし、交流をしていきたいと思えます。



神楽の見学もしました。



谷地区万歳～！

## 地域に集いの場を！ 神社Bar



囲炉裏を囲んで和やかに

一月に開催された「新春座談会」で出た「地域の集いの場を作りたい」という声を基に、谷八幡宮を居酒屋に見立てた飲み会が二月二十日に開催されました。一人一品を持ち寄って囲炉裏を囲み、いつもとは違う雰囲気の中でお酒を酌み交わすことが出来ました。途中からは、赤名からのお客様さんも来られ、大変賑やかな時間となりました。第二回もお楽しみに！

谷の風

写真塾三限目

三東サイ×笑顔P



撮影する視点が全員異なるのが面白い!

「三東敬志の写真の楽しみ方教えます(三限目)」が八日(日)に開催され町内外より二十五名の方が参加されました。今回は第一回からのまとめと、風景の撮り方編。天候にも恵まれ楽校周辺を歩きながら撮影会を開くことができました。撮影後は参加者全員の写真を見ながら三東さんより評価やアドバイスを受けてました。撮影場所は



ダムのご案内もして頂きました。

同じでも撮影する視点は十人十色、出来上がった写真をみると「こんなにきれいな場所があったなんて気づかなかった!」と新たな魅力を見出すことも出来ました。午後からは、卒業旅行として志津見ダムへ行きました。ダムの内部を案内して頂きながら撮影会を行った後、参加者が撮った写真を集めて「志津見ダム写真集」を製作しました。完成した写真集は楽校に置いてありますので、ぜひ見に来てください。

退任のご挨拶

地域おこし協力隊



地域おこし協力隊 岡村 虹二

谷地区の皆さん、三年間お世話になりました。家族のようごいまいた。家族のよううに地域に受け入れて下さり、数々の優しい言葉には大変支えられ、心が温まりました。様々な経験をさせて頂き、皆さんと同じ時間を共有できたことは今後の人生における貴重な財産です。少しでも地域から離れますが、これから繋がり大切に、また違った形で地域と関わり続けたいと考えています。谷地区に着任できたことは、僕にとって大きな自慢です。三年間本当にありがとうございました。そして、今後ともよろしくお願ひ致します。

3月の一枚



春の光を浴びる谷笑楽校



谷地区行事予定



日時	内容	場所
3月20日(金) 19:30~	自治会等輸送活動会議	谷公民館
3月21日(土) 11:00~	谷のカフェ・メルシ	谷笑楽校
3月21日(土) 13:00~	育児サロンこがもちゃん	谷笑楽校
3月27日(金) 19:00~	岡村さん卒業式	谷笑楽校
4月 8日(水) 9:30~	りめいく友の会	谷笑楽校
4月18日(土) 18:00~	自治振興会総会	谷公民館
4月22日(水) 9:30~	りめいく友の会	谷笑楽校
4月26日(日) 9:00~	自然と遊ぼう! 山菜採集+	谷笑楽校

地域の皆さんからの情報をお待ちしています!

あとがき

三年間「情報たに」の制作をさせて頂き、地域の様々な魅力を記事にすることができました。毎月発行する度に地域の強い想いを感じました。本当にありがとうございました!(岡村)